

【授業科目名】 現代社会 Modern Society

【学年・学科】 2年 総合工学システム学科

【授業期間】 通年

【授業形態】 講義

【担当教員】 伏見 裕子

【授業概要】

【単位数】 2単位 必履修

【達成目標】 A-1

【分野】 人文・社会系 (一般)

多様な考え方、生き方、および社会のあり方や仕組みを知ることにより、現代社会の諸問題を複数の視点から検討し、自らの考えをまとめる。

それとともに、これからの社会づくりおよび自らの人生について主体的に考察する力の基礎を養う。

【授業の進め方】

教科書および配布プリント等を用いて講義を行う。

授業中の演習や課題、口頭発表等を通じて、講義内容および時事問題についての考えを深められるようにする。学生間の積極的な討議を歓迎する。

【科目の達成目標】

1. 現代社会の諸問題を多角的に理解する。
2. 国内外の政治的・経済的諸制度を理解し、それらの成立経緯や問題点を理解する。
3. 未来の社会の担い手に求められる考え方や行動の仕方について主体的に考察し、自らの考えを表現できる。

【授業の内容】

項目	時間	授業内容
わたしたちの生きる社会	10	ガイダンス 地球環境問題への取り組み かぎりある資源とエネルギー 科学技術の発達と生命倫理 高度情報化社会と情報倫理
青年期と自己の形成	5	青年期とは 自己形成の課題 職業生活と社会参加 哲学・宗教・科学と人間 自由と幸福,正義 人間性回復と主体性確立
前期中間試験	1	
現代の民主政治と日本国憲法	12	民主政治のしくみと課題 世界のおもな政治制度 日本国憲法の基本的性格 日本の政治機構と政治参加
フィードバック	2	
現代の経済社会と国民生活	15	経済社会の変容 市場のしくみ 現代の企業 国民所得と景気変動 金融の役割 財政の役割と租税 日本経済のあゆみ 消費者問題 労働問題と労働者の権利 社会保障の役割 少子高齢化社会
後期中間試験	1	
国際社会と人類の課題	12	国際政治の特質 人種・民族問題 核兵器と軍縮問題 国際経済の動向 外国為替市場のしくみ 発展途上国の諸問題 経済協力と日本の役割
フィードバック	2	

【授業時間外の学習】

新聞等のニュースに日々接する。

口頭発表や課題については計画的に準備を行い、提出物の期限は守ること。

【履修上の注意点】

板書をただ書き写すだけではなく、授業で説明された内容を、適宜プリントや教科書に書き込むこと。出された課題や演習に積極的に取り組むこと。

【成績評価の方法】

1. 試験70%、提出物等30%
2. 100点法により評価し、60点以上を合格とする。

【関連科目】 日本史、世界史

【教科書等】 『2022ズームアップ現代社会資料 新訂版』（実教出版）

【参考書】 授業中に適宜指示する。